

「聖岳～光岳縦走」山行報告書

山行目的：ハイキングリーダー学校同期会

山行期間：2016年8月6日～11日

参加者：S外 労山会員4名

8/6(土) 二俣川駅前(車) 畑薙ダム駐車場(バス) 榎島ロッジ【泊】

7:00 14:30 15:30

8/7(日) 榎島ロッジ(バス) 登山口 6:30→吊橋 7:50→滝見台 10:50→(昼食) 11:30→13:00 聖平小屋【泊】

8/8(月) 聖平小屋 4:00→小聖 6:10→前聖 6:40→奥聖 7:00→前聖 7:20→小聖 8:15→聖平小屋 9:20→
岩頭 11:30→肩 12:40→上河内岳→肩→茶臼小屋 14:10【泊】

8/9(火) 茶臼小屋 5:30→茶臼岳 6:00→仁田池 6:20→喜望峰 6:50→仁田岳→喜望峰 7:30→易老岳 9:00
→

三吉平→12:25 光岳小屋(宿泊手続き後、光岳→光石→光岳→イザルヶ岳→小屋)【泊】素泊まり

8/10(水) 光岳小屋 3:50→易老岳 6:10→喜望峰 7:00→茶臼岳 8:40→茶臼小屋 9:10(休憩) →横窪沢小屋
→

ウソッコ沢小屋 12:30→ヤレヤレ峠 13:35→畑薙大吊橋 14:15→駐車場 15:10

旅館「大西屋」【泊】：2食 9,870円、温泉、夕食～18時スタート

8/11(木) 旅館「大西屋」朝食後 8:30 発(車) 横浜相鉄二俣川駅 12:15

●南アルプス南部は取り付きまでが遠い。榎島ロッジに前泊し7日朝6:15分発のバスの乗り林道歩きを50分カットした。

聖沢登山口から造林小屋跡までの8割方は急登だが、道は総じて歩きやすい。小屋跡を過ぎると少しずつ樹林越しに展望が得られるようになり、遠くに2本の滝が見える。一つ尾根を乗り越すと、岩頭滝見台。奥聖からと前聖の頭回りから落ちる、2本の落差の大きい滝が展望できる。(もっと近くで見てみたい！)

ここからは緩やかな道で遭難碑があるあたりから下りになり、沢を幾度となく渡る。途中沢に降り、歩き疲れた足を冷やす。数秒もつけていられない冷たさだが、気持ちいい。間もなく、聖平小屋へ到着。小屋では登山者を歓迎するフルーツポンチが大鍋に玄関前に置かれ、到着後すぐにいただく。無料！おいしい！

●8日は早朝、暗いうちに出発する。小屋を出て右へ行くと、しばらくは木道で、すぐ尾根の分岐にでる。森林をすぎ、展望が得られるようになると、岩稜帯となり登山道はザレ場で登りはまだいいが、下りは注意が必要。富士山、恵那山等もくっきりと見え、大展望。ここから奥聖への稜線は、花が咲いており展望を楽しみながら気持ちいい。チングルマは既に綿毛の準備。来た道を引き返し、聖小屋で今日もフルーツポンチをいただく。再び茶臼小屋へ向かい出発。太陽がキラキラ、目から頭へと苦痛だが、樹林帯の日蔭もあり、どうにか耐えられた。上河内岳の肩では、2人は頂上へ、3人は休養を(私は、頭痛と足の親指腹が痛いのでこれからに備え休養組)しばらく稜線を歩き、小屋分岐をグングン下り、茶臼小屋へ到着。

●9日、今日の朝食は小屋でいただく。少しのんびり出発。仁田池まで下ると板敷の道になりしばらく歩くと喜望峰。ここで荷物を置き、仁田岳の頂上へ。雲もなく遠くまで見えるもののクッキリとした展望ではなく少し残念。易老岳をすぎ、針葉樹林帯を過ぎると、水の流れのない沢筋の岩がゴロゴロした中を登る。炎天下の中、陽を遮るものもなく、汗だらだら。水場で休養をとり、しばらく歩くと板敷のサンジュが原となり小屋は目の前。小屋に荷を置き、

光岳、光石、イザルヶ岳へ行く。

光小屋は50歳以上で2人組以下でない食事の提供はないため、自炊。しかし、自炊場所は小屋の中で一番いい場所である。20年くらい前までは、南アルプス南部で食事の提供をする小屋はなかったそう。小屋の経営者は、この昔ながらの慣習を崩したくないそうです。山に登るには、自分の食事は自分で賄う。万が一を考えれば、コンロ等の準備が必要との考え。納得です。

●10日 早朝の出発。暗い中のゴーロの谷筋を慎重に下る。今日の茶臼岳からの眺めは、東側に雲があり富士山を見ることができなくて残念。上河内岳、聖岳の展望に別れを告げ、茶臼小屋で長めの休憩。ここからはグングン下り、ウソッコ小屋へ。再び登り返しひと尾根超えて下ると畑薙大橋。なかなかの渡り心地で、真ん中からは空中にいるよう眺めもいいし川の真上は気持ちいい。最後の林道歩きがもう歩きたくない気分だが仕方がない。駐車場まで日傘をさして歩いた。

植生：花の最盛期が過ぎているようで残念。シナノオトギリ草やトリカブトが多く咲いていた。光岳東側岩稜斜面に咲く固有種「テカリダケキリンソウ」とシナノナデシコがきれいだった。立ち枯れの樹林が多いのが気になった。

天候：ずっと晴れていた。特に聖岳へ登った8日がくっきりと遠くまでの展望が得られた。



聖岳①



聖岳②



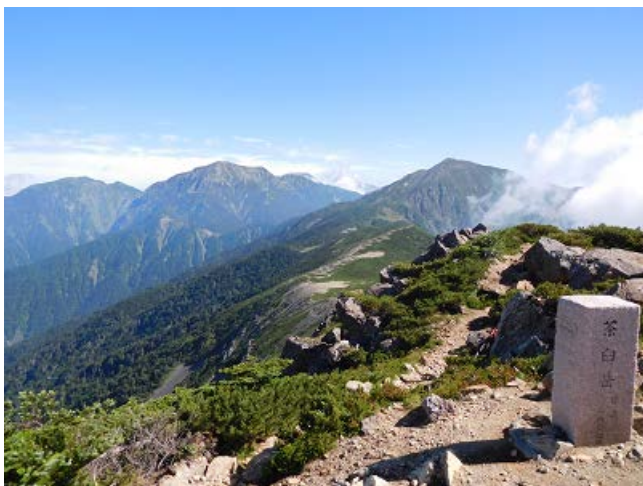
聖岳から



シナノナデシコ



光小屋炊事場



上河内岳・聖岳